



Conference Station のリモート モニタ

Cisco Unified IP Conference Station 7937G には、それぞれ Web ページがあります。この Web ページで、Conference Station に関する次のような情報を表示できます。

- デバイス情報
- ネットワーク設定情報
- イーサネット情報
- デバイス ログ
- ストリームの統計

この章では、Conference Station の Web ページから取得可能な情報について説明します。この情報は、Conference Station の操作のリモート モニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

また、この情報の多くは、Conference Station から直接取得することもできます。詳細については、[第 7 章「Conference Station のモデル情報、ステータス、および統計情報の表示」](#)を参照してください。

Conference Station のトラブルシューティングの詳細については、[第 9 章「トラブルシューティングおよびメンテナンス」](#)を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [Conference Station の Web ページへのアクセス \(P.8-2\)](#)
- [Web ページへのアクセスの無効化および有効化 \(P.8-3\)](#)
- [デバイス情報 \(P.8-4\)](#)
- [ネットワークの設定 \(P.8-5\)](#)
- [イーサネット情報 \(P.8-8\)](#)
- [デバイス ログ \(P.8-9\)](#)
- [ストリームの統計 \(P.8-10\)](#)

Conference Station の Web ページへのアクセス

Conference Station の Web ページにアクセスするには、次の手順を実行します。



(注)

Web ページにアクセスできない場合は、アクセスが無効になっている可能性があります。詳細については、[P.8-3](#) の「[Web ページへのアクセスの無効化および有効化](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 次のいずれかの方法で、Conference Station の IP アドレスを取得します。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス] > [電話] を選択します。検索条件を入力して Conference Station を検索し、Conference Station の名前をクリックします。Cisco Unified Communications Manager に登録されている Conference Station の場合は、IP アドレスが [電話の設定 (Phone Configuration)] Web ページの上部に表示されます。
- Conference Station で、[アプリケーション] > [設定] > [ネットワークの設定] を選択します。次に、[IP アドレス] オプションまでスクロールします。

ステップ 2 Web ブラウザを開いて、次の URL を入力します。ここで、*IP_address* は Conference Station の IP アドレスです。

`http://IP_address`

Conference Station の Web ページには、次のハイパーリンクが含まれています。

- **デバイス情報** : Conference Station のデバイス設定と関連情報を表示します。詳細については、[P.8-4](#) の「[デバイス情報](#)」を参照してください。
- **ネットワークの設定** : ネットワークの設定情報とその他の Conference Station の設定情報を表示します。詳細については、[P.8-5](#) の「[ネットワークの設定](#)」を参照してください。
- **イーサネット情報** : ネットワーク統計を表示します。詳細については、[P.8-8](#) の「[イーサネット情報](#)」を参照してください。
- **デバイスログ** : トラブルシューティング時に Cisco TAC のサポートが必要な場合に役立つ可能性のあるメッセージを表示します。詳細については、[P.8-9](#) の「[デバイス ログ](#)」を参照してください。
- **ストリームの統計** : コール統計を表示します。詳細については、[P.8-10](#) の「[ストリームの統計](#)」を参照してください。

Web ページへのアクセスの無効化および有効化

セキュリティを確保するために、Conference Station の Web ページへのアクセスを禁止する場合があります。この場合、この章で説明する Web ページおよび Conference Station のユーザ オプション Web ページへのアクセスを禁止します。

Conference Station の Web ページへのアクセスを無効にするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [デバイス] > [電話] を選択します。
 - ステップ 2** 電話機を検索する条件を指定して [検索] をクリックするか、または [検索] をクリックしてすべての電話機のリストを表示します。
 - ステップ 3** デバイス名をクリックして、そのデバイスの [電話の設定 (Phone Configuration)] Web ページを開きます。
 - ステップ 4** [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] 領域で、次の手順を実行します。
 - [Web Access] ドロップダウンリストから [Enabled] または [Disabled] を選択します。
 - ステップ 5** [保存] をクリックします。



(注) Cisco Quality Report Tool などの一部の機能は、Conference Station の Web ページにアクセスしないと正しく動作しません。また、Web アクセスを無効にすると、CiscoWorks などの Web アクセスに依存するサーバビリティ アプリケーションにも影響します。

デバイス情報

Conference Station の Web ページの [デバイス情報] 領域には、Conference Station のデバイス設定と関連情報が表示されます。表 8-1 に、これらの項目を示します。

[デバイス情報] 領域を表示するには、P.8-2 の「Conference Station の Web ページへのアクセス」の説明に従って Conference Station の Web ページにアクセスし、次に [デバイス情報] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-1 [デバイス情報] 領域の項目

項目	説明
MAC アドレス	Conference Station の MAC アドレス。
ホスト名	MAC アドレスに基づいて Conference Station に自動的に割り当てられた、一意の固定的な名前。
電話番号	Conference Station に割り当てられた電話番号。
アプリケーションロード ID	Conference Station で稼働しているファームウェアの ID。
起動ロード ID	Conference Station で稼働しているプレインストール済みのロードの ID。
バージョン	Conference Station で稼働しているファームウェアのバージョン。
ハードウェアのリビジョン	Conference Station ハードウェアのリビジョンの値。
シリアル番号	Conference Station のシリアル番号。
モデル番号	Conference Station のモデル番号。
メッセージ受信	この Conference Station で受信したボイス メッセージがあるかどうかを示します。
UDI	Conference Station の次の Cisco Unique Device Identifier (UDI; 固有デバイス識別情報) を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> デバイス タイプ：ハードウェアのタイプを示します。たとえば、電話機モデルの場合はすべて <i>phone</i> と表示されます。 デバイスの説明：表示されたモデル タイプに関連付けられている Conference Station の名前を表示します。 製品 ID：Conference Station のモデルを示します。 シリアル番号：Conference Station の一意シリアル番号を表示します。
時刻	Conference Station が所属する Cisco Unified Communications Manager の [日時グループ] から取得した時刻。
タイムゾーン	Conference Station が所属する Cisco Unified Communications Manager の [日時グループ] から取得したタイムゾーン。
日付	Conference Station が所属する Cisco Unified Communications Manager の [日時グループ] から取得した日付。

ネットワークの設定

Conference Station の Web ページにある [ネットワークの設定] 領域には、ネットワークの設定情報と Conference Station のその他の設定に関する情報が表示されます。表 8-2 に、この情報を示します。

これらの項目の多くは、Conference Station の [ネットワークの設定] メニューおよび [デバイス設定] メニューから表示および設定できます。詳細については、第 4 章「Conference Station の設定値の設定」を参照してください。

[ネットワークの設定] 領域を表示するには、P.8-2 の「Conference Station の Web ページへのアクセス」の説明に従って Conference Station の Web ページにアクセスし、次に [ネットワークの設定] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目

項目	説明
DHCP を使う	Conference Station で DHCP が使用されているかどうかを示します。
MAC アドレス	Conference Station の MAC アドレス。
ホスト名	DHCP サーバが Conference Station に割り当てたホスト名。
IP アドレス	Conference Station の IP アドレス。
サブネットマスク	Conference Station で使用されるサブネット マスクの IP アドレス。
デフォルトルータ 1	Conference Station で使用されるデフォルトのルータ ([デフォルトルータ 1])。
ドメイン名	Conference Station が常駐している Domain Name System (DNS; ドメインネーム システム) ドメインの名前。
DNS サーバ 1 ~ 5	Conference Station が使用するプライマリ DNS サーバ (DNS サーバ 1) およびオプションのバックアップ DNS サーバ (DNS サーバ 2 ~ 5)。
オペレーショナル VLAN ID	Conference Station がメンバーになっている Cisco Catalyst スイッチ上に設定された、補助バーチャル LAN (VLAN)。
管理 VLAN ID	Conference Station がメンバーになっている補助 VLAN。
TFTP サーバ 1	Conference Station で使用される、プライマリの Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバ。
TFTP サーバ 2、 TFTP サーバ 3	プライマリの TFTP サーバが使用不能の場合に、Conference Station で使用されるオプションのバックアップ TFTP サーバ。
代替 TFTP	Conference Station が代替 TFTP サーバを使用しているかどうかを示します。
イーサネットの設定	イーサネット ポート (Conference Station では LAN というラベルが付いています) の速度と二重化方式。

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目 (続き)

項目	説明
CallManager 1 ~ 5	<p>Conference Station を登録可能な Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名または IP アドレス (優先順位順)。Cisco Unified Communications Manager の限定機能を提供できる Survivable Remote Site Telephony (SRST) ルータが使用可能な場合、その SRST ルータの IP アドレスも表示されます。</p> <p>使用可能なサーバについては、この項目に Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスと、次の状態のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [アクティブ] : Conference Station に現在コール処理サービスを提供している Cisco Unified Communications Manager サーバ。 • [スタンバイ] : 現在のサーバが使用不能になった場合に、Conference Station が切り替える Cisco Unified Communications Manager サーバ。 • ブランク : 現在、Cisco Unified Communications Manager には接続されていません。 <p>オプションには、SRST 指定も含めることができます。これは、限定された Cisco Unified Communications Manager 機能を提供できる SRST ルータを示します。このルータは、他のすべての Cisco Unified Communications Manager サーバが到達不能になった場合に、コール処理の制御を担います。SRST Cisco Unified Communications Manager は、アクティブな場合でも、常にサーバリストの最後に表示されます。SRST ルータ アドレスは、Cisco Unified Communications Manager の [デバイスプール設定 (Device Pool Configuration)] セクションで設定します。</p>
セキュアシェルサーバ	Conference Station でセキュア シェル サーバが [有効] と [無効] のどちらになっているかを示します。
情報 URL	Conference Station に表示されるヘルプ テキストの URL。
サービス URL	Conference Station で Conference Station サービスの取得元となるサーバの URL。
ディレクトリ URL	Conference Station でディレクトリ情報の取得元となるサーバの URL。
メッセージ URL	Conference Station でメッセージサービスの取得元となるサーバの URL。
認証 URL	Conference Station の Web サーバに発行された要求を検証するために、Conference Station が使用する URL。
プロキシサーバの URL	Conference Station の HTTP クライアントの代わりにローカル以外のホストアドレスに HTTP 要求を送信し、ローカル以外のホストから Conference Station の HTTP クライアントへの応答を提供するプロキシサーバの URL。
アイドル URL	Conference Station が [URL のアイドル時間] で指定された時間にわたって使用されず、メニューが開かれていない場合に表示される URL。
URL のアイドル時間	Conference Station が使用されておらず、メニューも開かれていない場合に、[アイドル URL] で指定した XML サービスをアクティブにするまでの秒数。
ユーザロケール	Conference Station のユーザに関連付けられているユーザ ロケール。言語、フォント、日付と時刻の形式、および英数字キーボードのテキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を示します。
ユーザロケールバージョン	Conference Station にロードされたユーザ ロケールのバージョン。

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目 (続き)

項目	説明
ユーザロケール文字セット	Conference Station がユーザ ロケールに使用する文字セットのバージョン。
ネットワークロケール	Conference Station のユーザに関連付けられたネットワーク ロケール。Conference Station が使用するトーンと断続周期の定義など、特定の場所にある Conference Station をサポートするための一連の詳細情報を示します。
ネットワークロケールバージョン	Conference Station にロードされたネットワーク ロケールのバージョン。
通話制御の DSCP	コール制御シグナリングの DSCP IP 分類。
設定の DSCP	Conference Station の設定転送の DSCP IP 分類。
サービスの DSCP	Conference Station ベースのサービスの DSCP IP 分類。
Web アクセス可能	Conference Station の Web アクセスが有効(Yes)か無効(No)かを示します。

イーサネット情報

Conference Station Web ページの [イーサネット情報] 領域には、Conference Station のネットワークトラフィックに関する次のような情報が表示されます。

- イーサネット トラフィック
- Conference Station の PC ポートで送受信されたネットワーク トラフィック
- Conference Station のネットワーク ポートで送受信されたネットワーク トラフィック

[イーサネット情報] 領域を表示するには、[P.8-2 の「Conference Station の Web ページへのアクセス」](#)の説明に従って Conference Station の Web ページにアクセスし、次に [イーサネット情報] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-3 に、[イーサネット情報] 領域の項目を示します。

表 8-3 [イーサネット情報] 領域の項目

項目	説明
Rx error	受信した FCS エラー パケットまたは Align エラー パケットの総数。
Rx PacketNoDes	DMA 記述子がないために廃棄されたパケットの総数。
Rx Overruns	バッファ オーバーランが原因でドロップされた受信パケットの総数。
Rx alignErr	無効 FCS エラーがあり、長さが 64 ~ 1,522 バイトの受信パケットの総数。
Rx length error	長さが不適切なために廃棄されたパケットの数。
Rx symbol error	無効なデータ シンボルが 1 つ以上あり、長さが有効な受信パケットの数。
Rx CRC Errors	CRC に失敗した受信パケットの総数。
Rx Broadcasts	Conference Station が受信したブロードキャスト パケットの数。
Rx Multicasts	Conference Station が受信したマルチキャスト パケットの総数。
Rx fail filter	障害のある Conference Station で受信したパケットの総数。
Rx VLAN	バーチャル LAN で受信したパケットの総数。
Rx control frames	受信した制御フレームの総数。
Rx unicast	Conference Station が受信したユニキャスト パケットの総数。
Tx error	Conference Station によって送信された FCS エラー パケットまたは Align エラー パケットの総数。
Tx no descriptor	記述子が指定されていないためにドロップされた送信パケットの総数。
Tx fifoUnderrun	FIFO アンダーランが原因でドロップされた送信パケットの総数。
Tx lateCollision	パケット送信の開始から 512 ビット時間以降に衝突が発生した回数。
Tx Excessive Collisions	ネットワークの輻輳が原因で送信できなかったパケットの総数。
Tx excessDefer	メディアが使用中のために送信が遅らされたパケットの総数。
Tx Deferred Abort	中断された送信パケットの総数。
Tx Collisions	パケットの送信中に発生した衝突の総数。
イベント送信失敗	送信に失敗したパケットの総数。
イベント Rx パケット送信失敗	受信されなかったパケットの総数。
Tx excessLength	パケットの送信試行が 16 回に達したため、送信されなかったパケットの総数。
Rx totalPkt	Conference Station が受信したパケットの総数。
送信済みパケット	Conference Station が送信したパケットの総数。
受信オクテット	Conference Station が受信したオクテットの総数。
送信オクテット	Conference Station が送信したオクテットの総数。

デバイス ログ

Conference Station の Web ページの [デバイスログ] 領域には、Conference Station のモニタとトラブルシューティングに役立つ情報が表示されます。この情報には、Conference Station で受信したデバッグメッセージおよびエラーメッセージが含まれます。これらのメッセージは、トラブルシューティング時に Cisco TAC のサポートが必要な場合に役立つ可能性があります。

デバイス ログを表示するには、P.8-2 の「[Conference Station の Web ページへのアクセス](#)」の説明に従って Conference Station の Web ページにアクセスし、[デバイスログ] ハイパーリンクをクリックします。[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで、[開く] をクリックしてデバイス ログを表示するか、[保存] をクリックして特定の場所にログを保存します。

ストリームの統計



Conference Station は、同時に 3 つのデバイスとの間で情報をストリーミングできます。Conference Station は、コール中、または音声やデータの送受信サービスの稼働中に、情報をストリーミングします。

Conference Station の Web ページの [ストリームの統計] 領域には、ストリームに関する情報が表示されます。ほとんどのコールは 1 つのストリーム (ストリーム 1) だけを使用しますが、コールによっては 2 つまたは 3 つのストリームを使用するものもあります。たとえば、割り込みコールはストリーム 1 とストリーム 2 を使用します。

[ストリームの統計] 領域を表示するには、[P.8-2 の「Conference Station の Web ページへのアクセス」](#)の説明に従って Conference Station の Web ページにアクセスし、次に [ストリームの統計] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-4 に、[ストリームの統計] 領域の項目を示します。

表 8-4 [ストリームの統計] 領域の項目

項目	説明
リモートアドレス	ストリームの IP アドレスおよび UDP ポート。
ローカルアドレス	Conference Station の IP アドレスおよび UDP ポート。
開始時間	Cisco Unified Communications Manager が Conference Station にパケットの送信開始を要求した時間を示す内部タイム スタンプ。
コーデックのタイプ	受信または送信した音声ストリームのタイプ (RTP ストリーミング オーディオ)。G.729、G.711 u-law、G.711 A-law、G.722、G.722.1、または Lin16k。
ペイロードサイズ	受信中または送信中の音声ストリーム (RTP ストリーミング オーディオ) の音声パケットサイズ (ミリ秒)。
受信パケット	音声ストリームが開始されてから受信した RTP 音声パケットの数。  (注) この数値は、必ずしもコールの開始以降に受信した RTP 音声パケットの数と等しいとは限りません。これは、コールが途中で保留されることがあるからです。
受信喪失パケット	失われた RTP パケット (転送中に喪失)。
受信オクテット	音声ストリームが開始されてから受信した音声パケットのバイト数。
Rx 期待 Pkts	ローカル Conference Station で想定されている受信パケットの数。
最終 Rx シーケンス No	直近に受信した RTP パケットのシーケンス番号。
最新 Rx SSRC	直近に受信した RTP パケットの Synchronization Source (同期化ソース) フィールド。
平均ジッタ	受信中の音声ストリームが開始されてから測定された、RTP パケットジッタの推定平均値 (パケットがネットワークを経由する際の動的な遅延)。
最大ジッタ	受信中の音声ストリームが開始されてから測定された最大ジッタ。
送信パケット	音声ストリームの開始以降に送信された RTP 音声パケットの数。  (注) この数値は、必ずしもコールの開始以降に送信された RTP 音声パケットの数と等しいとは限りません。これは、コールが途中で保留されることがあるからです。
送信オクテット	音声ストリームの開始以降に送信された音声パケットのバイト数。